

# 2015 年度事業報告書

はじめに

今年度は、北海道の助成財団 4 つから支援をいただきました。北海道新聞社会福祉振興基金からはボラナビの「無料ボランティア情報」コーナーに、北海道ろうきん社会貢献助成からは「NPO のハテナ」に、そして、赤い羽根共同募金からはおひとり様会の「独身者のココロウチ」広報に、さらに北海道立市民活動促進センターからはスタッフのボラナビにおける活動に対し助成をいただきました。おかげさまで既存の活動の継続と、新たな試みに挑戦でき、決算も数年ぶりに黒字になりました。ありがとうございました。

## 1. ボランティアニーズマッチング

### A. 月刊ボラナビ

札幌市内近郊の市民団体や障がいのある個人のボランティア募集情報を掲載した無料誌です。4月号～3月号(200-211号)を発行しました。月の部数は15,000部でした。北海道新聞社会福祉振興基金より「無料ボランティア情報」コーナーに、北海道ろうきん社会貢献助成より「NPO のハテナ」に助成をいただきました。無料掲載したボランティア情報は22(前年比3減)、有料掲載したNPO情報は51(前年比6増)でした。紙面構成は、無料ボランティア・イベント情報、有料情報(NPO・企業行政)、NPOの法務と税務の疑問に専門家が答える「NPOの?(ハテナ)」です。

### B. ボラナビ・サーチなど(インターネット広報)

検索サイト「ボラナビ・サーチ」と、メール通知機能「ボラナビ・アラート」を備えた北海道のボランティア総合サイトです。検索語句「北海道 ボランティア」では、グーグル、ヤフー、マイクロソフト・ビングで一位となり、アクセスは、月間PV24万(4月)～37万(12月)でした。サーチには3月末時点で2654件(昨年比269増)登録されており、弊社のサイトで最もアクセスを集めています。アラートの登録数は333(新規登録39件、トータル昨年比22減)です。ホームページ上の有料定型バナー広告枠である「NPOアド」は、ひと月あたり18万PVを記録しており、利用団体は合計3団体でした(前年度からの利用を含む)。フェイスブックページの「いいね」は463(前年比76増)です。

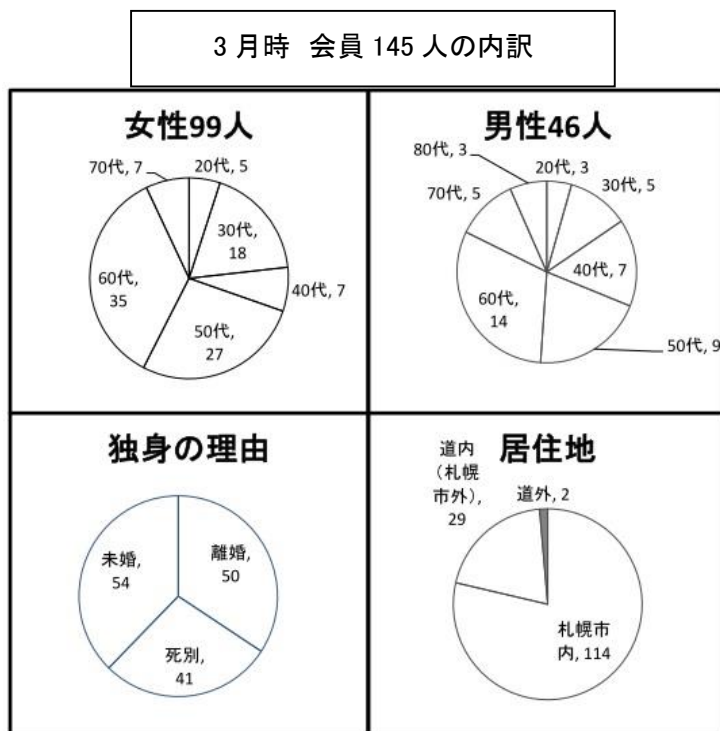
### C. 市民活動団体支援

- ・ セルフヘルプの輪は、北海道で活動する自助グループのリンク集です。3月末で65団体を掲載しています(今年度の新規登録1つ)。
- ・ 出張芸は、福祉施設を芸でボランティアとして慰問する個人や団体のコーナーです。3月末で44人・団体を掲載しています(今年度の新規登録は1人・団体)。
- ・ 北海道お茶の間めぐりは、地域の居場所づくりの取り組みを特集するコーナーで、約400件

の情報を登録しています。

## 2. おひとり様会

- ・ 20 歳以上で未婚・離婚・死別による独身者を対象にした会員制事業で、独身者の孤立防止と課題解決を目的としています。毎月の会報誌「しゃぼん玉ノート」で会員の経験や想いを共有し、会員が直接会って交流できる「オフ会」を設置・ご案内しています。
- ・ 4 月スタート時の会員数は 188 人、年度末は 145 人でした(43 人減)。会員が交流するオフ会を 90 回(事務局 69 回、会員有志 21 回)実施し、参加のべ 1256 人(実人員 186 人)でした。
- ・ 孤立死防止を目的にしたおひとり様会着信確認サービスの利用者は 2 人です。
- ・ 会員同士の個別交流をサポートする「ハガキ転送サービス」の総利用数は 41 枚でした。
- ・ 赤い羽根共同募金助成事業として、月刊ボラナビ 1 月号～4 月号(次年度)まで 4 回にわたって、「独身者のココロウチ」として複数の会員の寄稿抜粋を掲載しました。
- ・ おひとり様会の会員専用掲示板(会員主宰 4 つ、事務局主宰 2 つ)を今年度も運営しました。
- ・ 会報誌や交流会名簿でニックネームを表記できるようにしたところ、29 人が利用中です。
- ・ 8 月に、初めて 20 代～40 代限定で、非会員も交えた「2040 体験交流会」を無料開催したところ、参加数は男性 20 人、女性 26 人(会員男性 3 人、女性 4 人含む)でした。そこで、1 月より、非会員も有料で参加可能として、2040 交流会を毎月開催しています。
- ・ 会員から寄せられた要望や感想を基に「楽しい活動のためのヒント」を作成し、会員と共有しています。
- ・ マスコミ(読売新聞朝刊 12 月 19 日)に取り上げていただきました。



以上